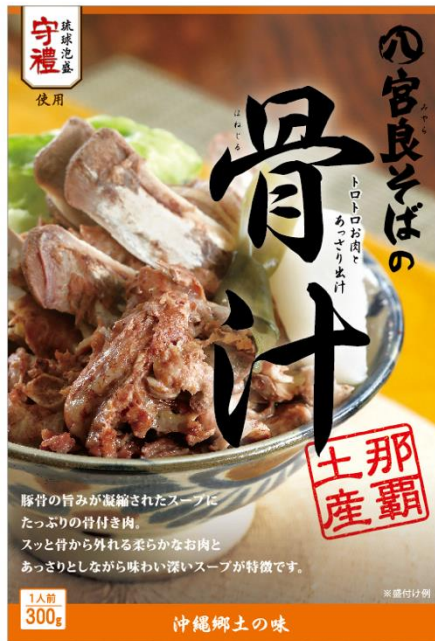


宮良そばの骨汁／株式会社ニューロンシステム（宮良そば）



宮良そばは創業 33 年の八重山そば専門店。那覇市と浦添市に 2 店舗を構え、両店舗にて提供している人気商品「骨汁」をレトルト加工しお土産品として商品開発を行った。

宮良そばでは沖縄そばの出汁を取るのに豚骨を使用。出汁を取り終えた頃には骨に付いている肉が箸で持ち上げただけで骨からはずれるぐらいトロトロになっており、それを出汁に戻して調味料で味を整え「骨汁」として提供している。1 日 10 食程度と提供数が限られているため、売り切れることがほとんどの隠れた人気メニュー。今回商品開発するにあたり、店舗で実際に提供している味と風味をそのままにレトルトパックにできるように注力した。

主原料は豚骨だが、今回の商品開発においては臭み消しとして原料に琉球泡盛を使用し、龍柱会議のキャラクター「りゅうきゅうあわもり」のキャラクターデザイン」をパッケージに活用。琉球泡盛の調理での活用についても普及を考えた商品企画を行った。

次年度以降の展開としては、同社が経営する那覇市内のホテルの土産品コーナーでの販売からスタートし、その他土産品店など取り扱い店舗を拡大していく計画である。

マグロまん／株式会社オキランド



左から「マグロカレーまん」「マグロ卵まん（仮称）」



冷凍1個入りのパッケージイメージ

オキランドは、本場台湾の小籠包を中心に台湾のローカルフード等を提供している「臺瓏（タイロン）」を経営。浮島通りの自店舗にて小籠包の他、肉まんなどを製造・提供している。

本事業では那覇市の地域資源である「那覇市のマグロ」を活用した「マグロまん」の開発を企画し、今年度は「マグロカレーまん」と「マグロ卵まん（仮称）」の開発を実施した。これまで自社店舗で製造してきた既存商品のノウハウを生かし、ふっくらした生地にそれぞれの餡が包まれた、手軽に食べることのできるお土産品に仕上がった。

今後は味の改良も進めながら、更にマグロ麻婆まんなど新しいラインナップも増やしていく。自店舗内での提供やテイクアウトのほか、冷凍の土産品として今後卸販売にて展開していく計画を立てている。

Snob シリーズ（男性用基礎化粧品）／ベナスタス株式会社



ベナスタス株式会社では、自然の材料だけを使用した非加熱製法による石鹸の製造・販売を行っている。本事業で開発を進めた商品は沖縄初の男性用基礎化粧品。年々増えている観光客の中には、インバウンドのLGBT層も多く、那覇市が2015年にLGBTパートナーシップ支援宣言をしたことも後押ししていると考えられる。そんな背景の中、30～50代の男性を基本、特にLGBT層やその他インバウンドをターゲットに取り込めるような、ナチュラル指向の基礎化粧品を目指した。もちろん男性だけにターゲットを絞るのではなくノンジェンダーコスメという位置付けを持たせ、男女問わず高品質なナチュラルコスメを求める層も取り込めるような商品を開発。

今回開発した商品は、洗顔料・化粧水・ジェルクリームのスキンケアの基本の3種類だが、3種類全て、男性の肌に優しい自然の材料をベースに美容効果の高い沖縄の月桃水を配合。パッケージ等のデザインに関しては、自宅使用の他、プレゼントにも対応できるシンプルでスタイリッシュなデザインにし、男性やLGBT層に好まれるようにした。また男性用化粧品売場でも他の商品との差別化できるようにデザインを行った。パッケージやパンフレットにはLGBT層の支援を意味するレインボーマークのシールを貼り、那覇市がパートナーシップ宣言をしていることがわかるよう「LGBTQ FRIENDLY NAHA CITY OKINAWA」を表記し、那覇市独自のこれまでにない土産品が誕生した。

AIJU | 藍樹（琉球松を藍染したダイニングセット）／インテリアン



インテリアンは店舗や住宅のリノベーション、オーダー家具の設計・製作を主に行っており、DIY 教室の講師なども務めている。今回開発した商品は琉球松を藍染加工したダイニングセット。那覇市の伝統の象徴である首里城をオマージュした形状に、空、海、都会的などを連想させる青色を藍染で表現。藍是那覇市の伝統工芸琉球紅型の染料のひとつであり、木材は県木である琉球松を使用することで、商品としてのさらなる価値向上につながると考えている。

現代のライフスタイルに伝統的な要素がバランスよく溶け込んだ商品を企画開発した。AIJU は琉球松を藍染したプロダクトを生み出すコンセプトのブランド。取扱店を増やししながら今後は家具だけでなく国内外の観光客が購入しやすいサイズのプロダクトを開発していく計画である。

WAI YOKANG(リゾートウェアの開発と衣装レンタルサービス)

／株式会社マドンナ (YOKANG)



株式会社マドンナは、県内外で知名度を持つ沖縄発のファッションブランド「YOKANG (ヨーカン)」の事業者である。紅型染めや型染めを施したテキスタイルは手染めで染色されており、沖縄の伝統工芸の文化を現代のファッションに融合させる独自のデザインが人気のブランド。同社が本事業で開発したのは沖縄の気候に合わせた、シワになりにくく着心地の良いリゾートウェアのラインと、その商品のレンタルサービス。自社の新たなリゾートウェアラインとして「WAI YOKANG(ワイ ヨーカン)」とブランド名を冠し、商品開発にあたった。

今回開発したのはショール、3Wayワンピース、フレアワンピース、キャミソールワンピース、速乾ドライシャツ、速乾ドライTシャツの6種のアイテム。プリントテキスタイルは那覇市の伝統文化、象徴である首里城や守礼の門、国際通りなどの観光名所からインスパイアされたものを使用し、那覇市ならではの商品となった。ウェアの販売だけでなく、ハワイなどのリゾート地で実際に人気のある衣装レンタルやフォトサービスのように、新たな試みとしてレンタルサービスも開発。今後は既製品ラインとデザインをオーダーできるラインも検討している。

なは土産（「龍柱会議」キャラクターを使用した文具シリーズ）

／株式会社翔コピーセンター



翔コピーセンターは、創業以来32年間オンデマンド印刷業務を行ってきた実績ある印刷会社で、今回開発を企画したのは、「龍柱会議」のキャラクターを使用した文具シリーズ。ノートやメモ、カレンダーなどの文具は日常生活で使用する機会が多く生活に密着している。また、男女や年齢に関係なく身近な存在であり、気軽に購入することができる。そのような理由から、今回はメモ帳、ノート、カレンダーの開発を進めた。

どのアイテムも共通して表紙に「龍柱会議」のキャラクターとともに方言、その意味が記載されており、観光客へのアプローチもできる商品に仕上げた。また、カレンダーについては六曜とともに旧暦も掲載し、県民の生活にも馴染むような商品設計となっている。今後は土産店などを中心に取扱店を増やしていく予定である。